



第44回 東名高速道路におけるタイヤ点検 アンケート調査の結果報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会(会長 津谷正明)では、関係各位のご協力を得て、去る 10 月 26 日、東名高速道路・浜名湖サービスエリアに駐車中の自動車タイヤの点検並びにそのドライバーを対象としたアンケート調査を行いましたので、その結果をここに発表致します。

このタイヤ点検は、タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図ることを目的に、東名高速道路が全線開通した当初より実施しているものであり、今年で 44 回目となります。

当会が実施しているこの他のタイヤ点検の結果からもタイヤの日常点検・整備等が適正に行われていないことが窺えるため、今後も本点検をはじめとする様々な啓発活動の中でタイヤ適正使用・管理の重要性を訴求して参ります。



● タイヤ点検・アンケート調査の対象車種及び目的

項目	対象車種	目的
タイヤ点検	乗用車 大型バス トラック	タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図る。
アンケート調査	乗用車	タイヤ使用に関するドライバーの意識を調査し、正しい使用・管理方法を PR する。

※本点検は、従前、夏季(7月末)に実施して参りましたが、自動車点検整備推進運動強化月間(9、10月)及びエコドライブ月間(11月)との関連性等も考慮し、昨年より秋季に移行し実施致しました。

● 後 援

経済産業省
国土交通省
一般社団法人 日本自動車工業会

● 協 力

中部運輸局
関東管区警察局 川崎高速道路管理室
静岡県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊
中日本高速道路株式会社 東京支社
一般社団法人 日本自動車連盟 中部本部
社団法人 静岡県トラック協会
静岡県高速道路交通安全協議会

1. タイヤ点検結果の概要

今回、タイヤ点検を行った車両は乗用車 137 台、大型バス 43 台及びトラック 41 台の合計 221 台ですが、これら車両のタイヤ整備の概要は次の通りです。

1-1 タイヤ整備の「車種別」状況について

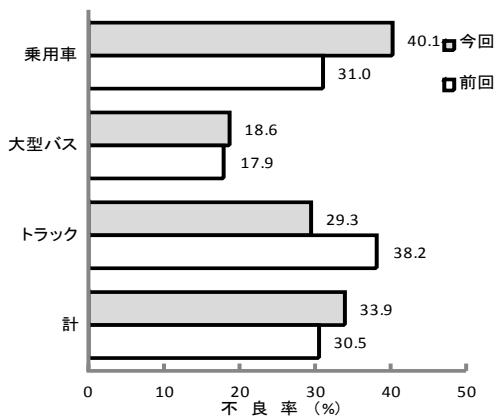
タイヤ点検を行った車両 221 台のタイヤ整備状況は表-1 の通りです。

表-1 タイヤ整備の「車種別」状況

車種	点検車両	タイヤ整備不良車両	不良率	前回不良率	
				増	減
乗用車	137台	55台	40.1%	+9.1	31.0%
大型バス	43	8	18.6	+0.7	17.9
トラック	41	12	29.3	-8.9	38.2
計	221	75	33.9	+3.4	30.5

- 1) タイヤの整備不良車両は 221 台のうち 75 台であり、不良率は 33.9% になっています。
- 2) タイヤの整備状況を車種別にみると、不良率が一番高かったのは乗用車で 40.1%、次いでトラック 29.3% の順となっており、大型バスは 18.6% でした。
- 3) タイヤの整備状況について今回と前回を比べると、全体の不良率は 3.4 ポイント増加しています。
(図-1 参照)

図-1 車種別・タイヤ整備不良率の比較



1-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

タイヤの整備不良車両 75 台の「車種別・項目別(80 件)」内訳は表-2 の通りです。

表-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

不良項目	乗用車		大型バス		トラック		計		増減	前回不良率
	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
タイヤ溝不足	0件	0.0%	2件	4.7%	7件	17.1%	9件	4.1%	-2.8	6.9%
偏摩耗	1	0.7	6	14.0	4	9.8	11	5.0	±0.0	5.0
外傷	0	0.0	0	0.0	1	2.4	1	0.5	+0.5	0.0
釘・異物踏み	1	0.7	0	0.0	1	2.4	2	0.9	+0.5	0.4
空気圧不足	54	39.4	—	—	—	—	54	39.4	+9.6	29.8
その他	3	2.2	0	0.0	0	0.0	3	1.4	-0.1	1.5
計	59	—	8	—	13	—	80	—	—	—

注)①乗用車の空気圧点検は実測(ホット状態)。

- 1) タイヤの整備不良を項目別に見ると、不良率 1 位は空気圧不足で 39.4%、次いで偏摩耗が 5.0%、タイヤ溝不足が 4.1% の順となっています。
- 2) 図-2 より、「空気圧不足」が 39.4% (前回対比 9.6 ポイント増加)、次いで、「偏摩耗」5.0% (前回同)、「タイヤ溝不足」4.1% (2.8 ポイント減少) の順となっています。



図-2 項目別・タイヤ整備不良率の比較

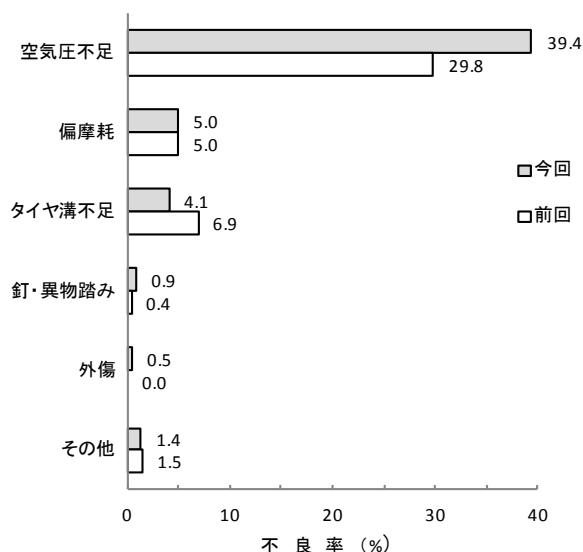


表-3 第44回 東名高速道路におけるタイヤ点検結果

	前回(参考) 第43回(2011.10.28)				今回 第44回(2012.10.26)				増減	
	乗用車	大型バス	トラック	計	乗用車	大型バス	トラック	計		
	A. 点検車両 (台)	168	39	55	262	137	43	41	221	
B. タイヤ整備不良車両(台)	52	7	21	80	55	8	12	75	—	
B/A. 不良率(%)	31	17.9	38.2	30.5	40.1	18.6	29.3	33.9	+3.4	
タイヤ整備不良の内訳(件数)	タイヤ溝不足	1 (0.6)	2 (5.1)	15 (27.3)	18 (6.9)	0	2 (4.7)	7 (17.1)	9 (4.1)	-2.8
	偏摩耗	1 (0.6)	4 (10.3)	8 (14.5)	13 (5.0)	1 (0.7)	6 (14.0)	4 (9.8)	11 (5.0)	±0.0
	外傷	0	0	0	0	0	0	1 (2.4)	1 (0.5)	+0.5
	釘・異物踏み	1 (0.6)	0	0	1 (0.4)	1 (0.7)	0	1 (2.4)	2 (0.9)	+0.5
	空気圧不足	50 (29.8)	—	—	50 (29.8)	54 (39.4)	—	—	54 (39.4)	+9.6
	その他	2 (1.2)	1 (2.6)	1 (1.8)	4 (1.5)	3 (2.2)	0	0	3 (1.4)	-0.1
	計	55	7	24	86	59	8	13	80	—

- 注) ① 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 ② 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
 なお、「タイヤ整備不良の内訳(件数)」の()は不良率を示す。
 ③ 乗用車の空気圧は実測(ホット状態)。

1-3 専門チームによるトラック(積載 4t以上)の空気圧実測結果

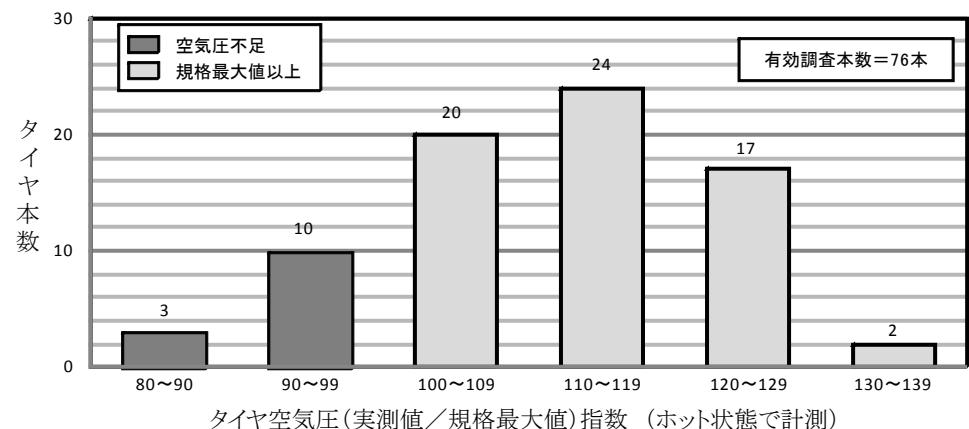
について

結果は、図-3 の通りです。

- 1) トラック(積載 4t 以上)の空気圧点検を実施したところ、38 台中 7 台に装着されたタイヤで空気圧不足の状態がありました。
- 2) 不良率は 18.4%と前回(点検台数 51 台、空気圧不足車両 8 台、不良率 15.7%)に比べ 2.7 ポイント増加しています。



図-3 タイヤ規格最大値に対するユーザー空気圧管理実態(トラック)



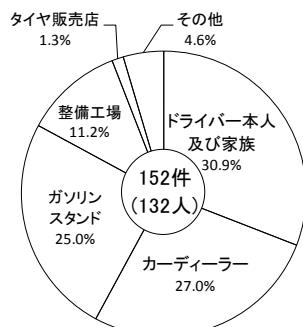
2. アンケート調査結果の概要

今回は、乗用車のドライバーにアンケートし、132人に回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。
(グラフの中心に表示している数字は当該質問の有効回答者数です。)



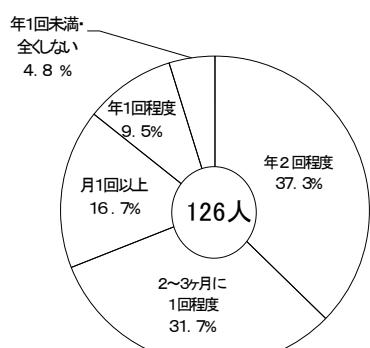
《乗用車》

Q1 主に誰がタイヤ点�査を行いますか？(複数回答)



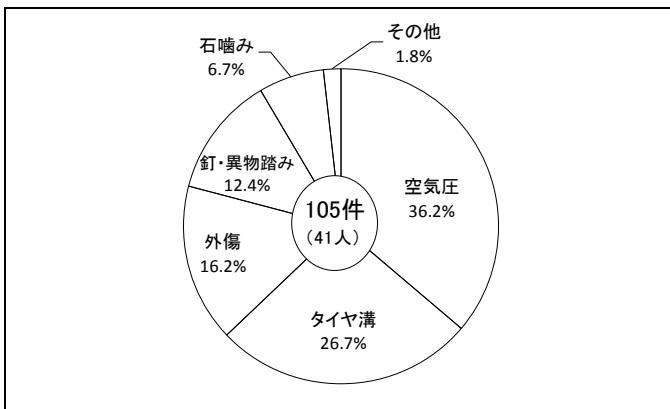
タイヤ点検を行う人については、「ドライバー本人及び家族」が 47 人(30.9%)で最も多く、次いで「カーディーラー」が 41 人(27.0%)、「ガソリンスタンド」が 38 人(25.0%)、「整備工場」が 17 人(11.2%)、「タイヤ販売店」が 2 人(1.3%)となっています。

Q2 それは合計でどの位の頻度で行いますか？



タイヤの日常点検の頻度については、「年 2 回程度実施する」と回答したドライバーが 47 人(37.3%)と最も多く、次いで「2~3ヶ月に 1 回程度」との回答が 40 人(31.7%)、「月 1 回以上」との回答が 21 人(16.7%)でした。

Q3 何を点検しましたか？(Q1でドライバー本人及び家族と回答した場合のみ回答、複数回答)



実際の点検項目については、「空気圧」を点検するとの回答が38件(36.2%)、「タイヤ溝」28件(26.7%)で、合わせて6割強を占めています。次いで「外傷」17件(16.2%)、「釘・異物踏み」13件(12.4%)、「石噛み」7件(6.7%)となっています。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 技術環境部 柴田

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階

TEL:03-3435-9092